



NISSHA

2018年12月期 第3四半期 決算説明テレフォン・ カンファレンス

2018年11月7日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

本日のポイント

2018年12月期 第3四半期（7-9月）の実績

- デバイスの売上高が急回復（過去最高の四半期売上高）
 - デバイス：営業利益率15%超
 - 2018年モデルは垂直立ち上げ、初期歩留まりは良好、量産の本格化で利益創出
 - Q3の製品需要はQ4へやや後ろ倒しとなるも、下期を通しては変わらず
 - 産業資材：自動車は堅調、蒸着紙の需要はやや下振れ
 - メディカルテクノロジー：買収した企業の業績がQ3から寄与、PMIはすべて順調

2018年12月期 通期の見通し

- 通期業績計画に変更なし（為替想定レート：¥110/\$）
 - 売上高2,170億円、EBITDA200億円、営業利益102億円、経常利益90億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円
 - 事業別の内訳を修正

トピックス

- 情報コミュニケーション事業の事業再編を発表（2018年9月4日）
- 自己株式の取得を発表（2018年11月7日）

2018/12期 Q3累計（9カ月）の実績

売上高は過去最高（1-9月）

(百万円)

	2017年 1-9月 実績	2018/12期 1-9月 実績	前年同期比 (2017年 1-9月比)
売上高	128,978	✓ 140,860	+9.2%
産業資材	36,320	34,518	▲5.0%
デバイス	69,167	80,041	✓ +15.7%
メディカルテクノロジー	13,110	16,015	✓ +22.2%
情報コミュニケーション	10,135	9,961	▲1.7%
その他	243	322	+32.5%
EBITDA	7,748	8,966	+15.7%
EBITDA率	6.0%	6.4%	+0.4pt
営業利益	▲ 434	1,958	黒字化
営業利益率	-0.3%	1.4%	+1.7pt
経常利益	▲ 426	1,395	黒字化
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 2,211	451	黒字化
為替レート	¥111/\$	¥109/\$	

2018/12期 Q3（3カ月）の実績

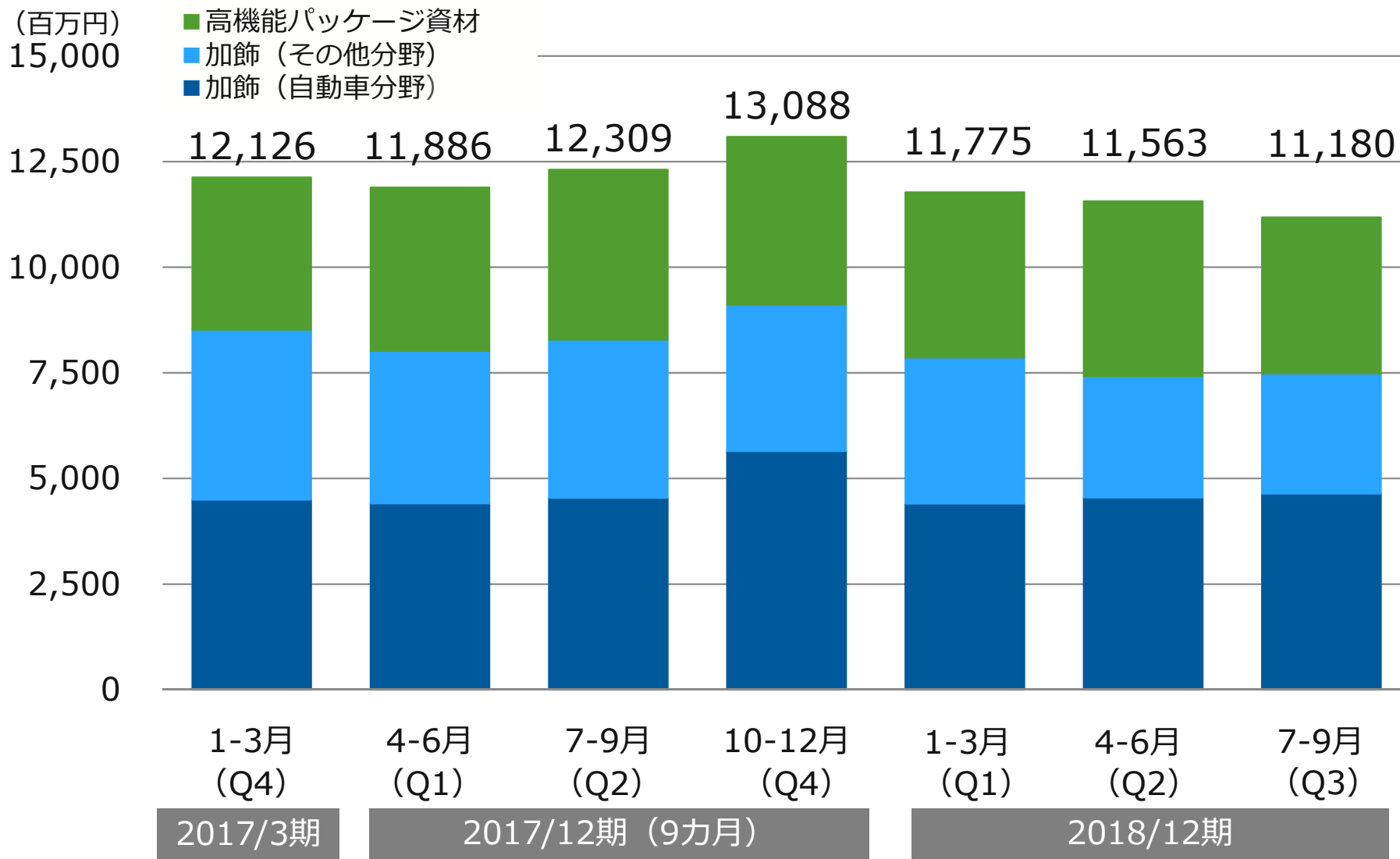
売上高拡大、収益性が大きく改善

(百万円)

	2018/12期 1-3月 (Q1) 実績	2018/12期 4-6月 (Q2) 実績	2018/12期 7-9月 (Q3) 実績	前四半期比 (2018/12期 4-6月比)
	売上高	36,314	36,228	68,318
産業資材	11,775	11,563	11,180	▲3.3%
デバイス	15,687	16,325	48,029	✓ +194.2%
メディカルテクノロジー	4,880	5,107	6,028	✓ +18.0%
情報コミュニケーション	3,873	3,121	2,967	▲4.9%
その他	97	112	113	+0.9%
EBITDA	515	▲ 383	8,834	黒字化
EBITDA率	1.4%	-1.1%	✓ 12.9%	+14.0pt
営業利益	▲ 1,829	▲ 2,647	6,434	黒字化
営業利益率	-5.0%	-7.3%	✓ 9.4%	+16.7pt
経常利益	▲ 3,663	▲ 2,291	7,349	黒字化
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 3,612	▲ 3,142	7,205	黒字化
為替レート	¥ 109/\$	¥107/\$	¥110/\$	

自動車は堅調、その他はやや下振れ

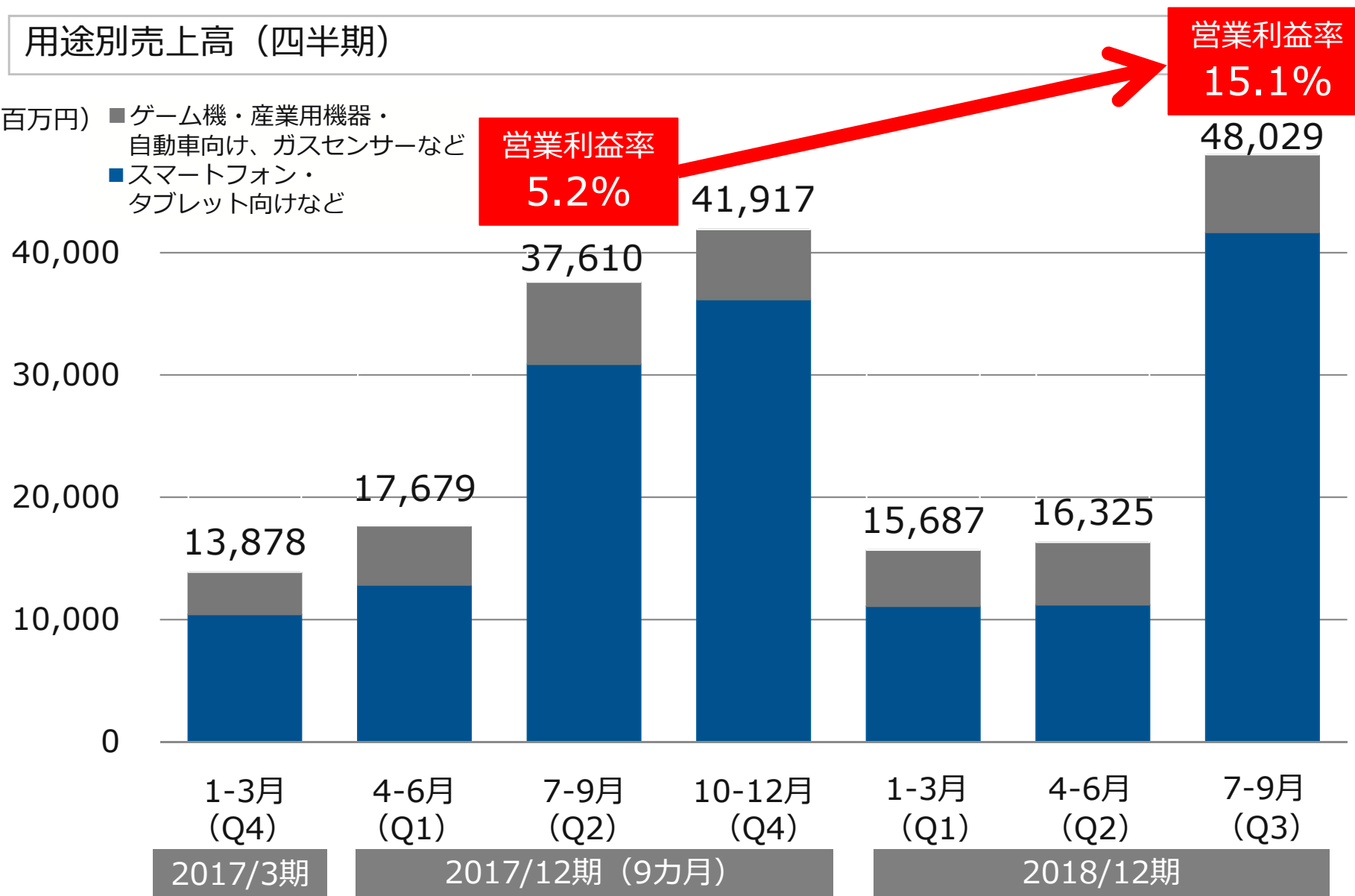
用途別売上高（四半期）



2018年モデルの立ち上がりは好調

用途別売上高（四半期）

(百万円) ■ ゲーム機・産業用機器・
自動車向け、ガスセンサーなど
■ スマートフォン・
タブレット向けなど




Lens TechnologyとのJV

NISSHA技術による「第4の工場」量産体制の完成は間近



- NISSHAのエンジニアを投入
- 歩留り・品質は既に日本と同等
- 難易度の高い試作を開始、進捗は順調

 2019年度の量産開始、業績貢献

- 中国 湖南省 長沙
- Lens Technologyの敷地の一角
- 延べ床面積47,000㎡
- NISSHA加賀工場を上回る広さ
- NISSHAと同仕様の生産設備

✓ ● パイロットラン

現在、複数モデルの量産を視野

✓ ● 工場の立上げ

✓ ● 2017年11月8日
JVの基本合意

✓ ● 設備導入



2017年

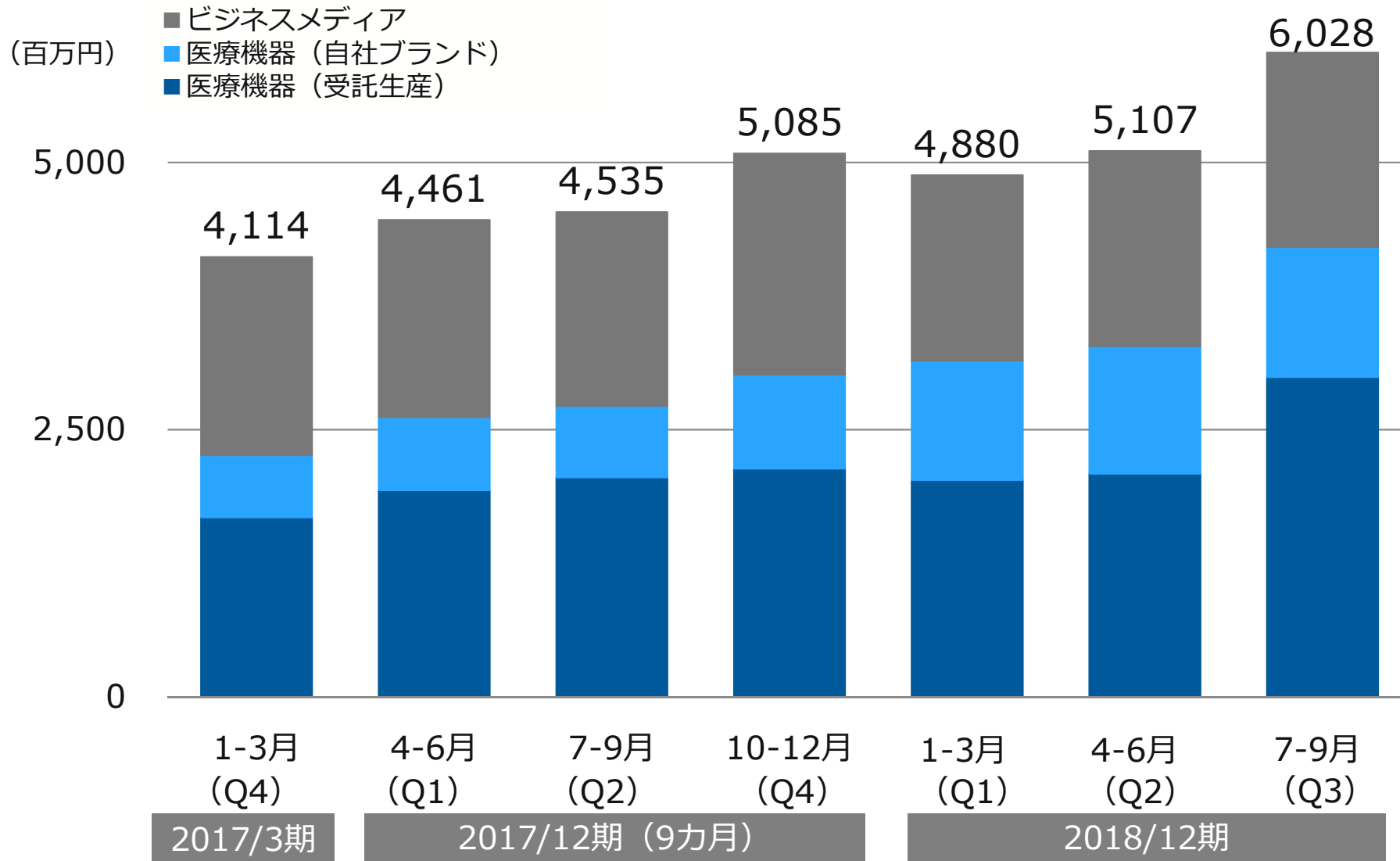
NISSHA

2018年

2019年

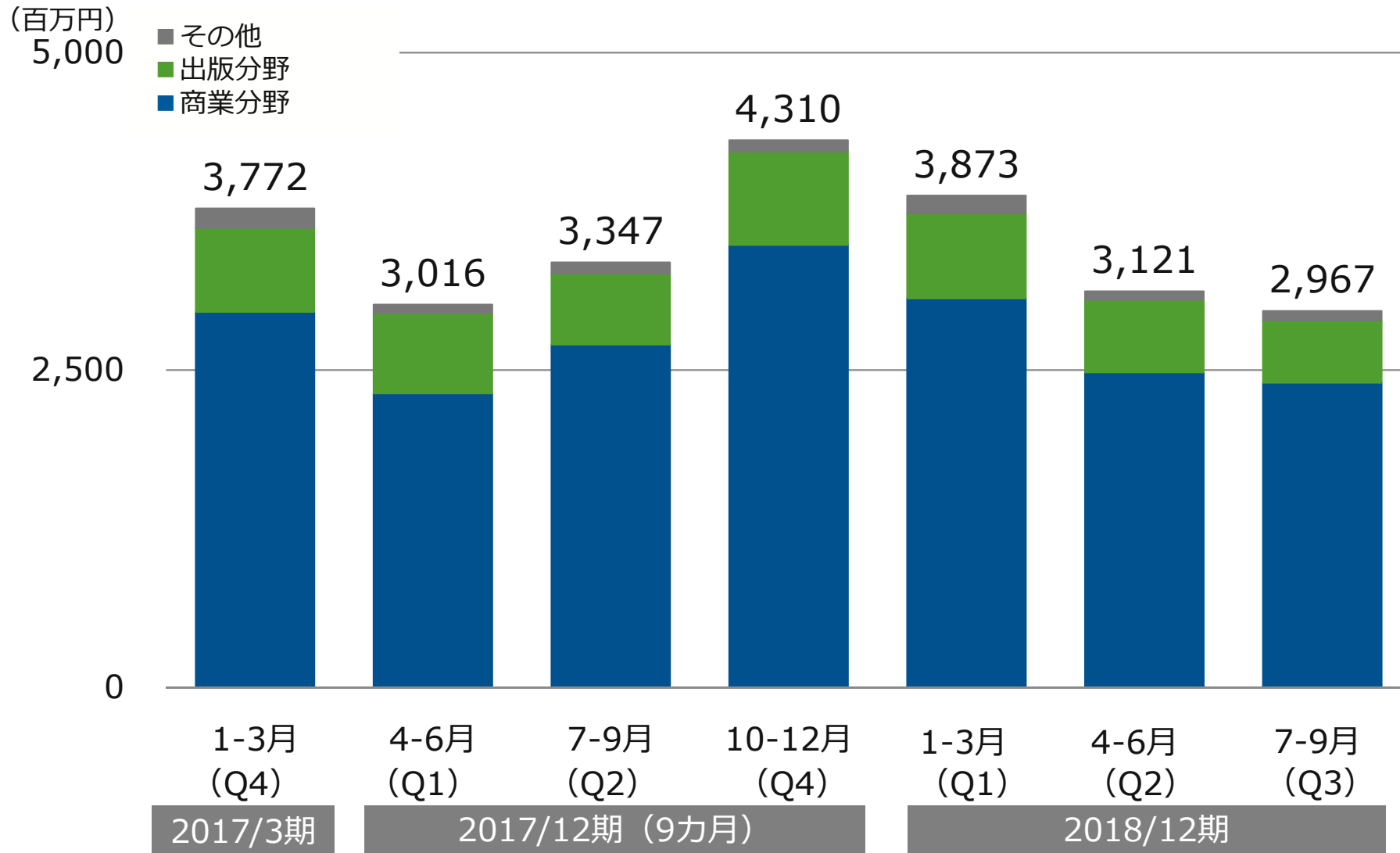
メディカルテクノロジー 上期買収企業の業績が連結、PMIはすべて順調

用途別売上高（四半期）



情報コミュニケーション

用途別売上高（四半期）



情報コミュニケーション事業（東京地区）の譲渡を 発表（2018年9月4日）

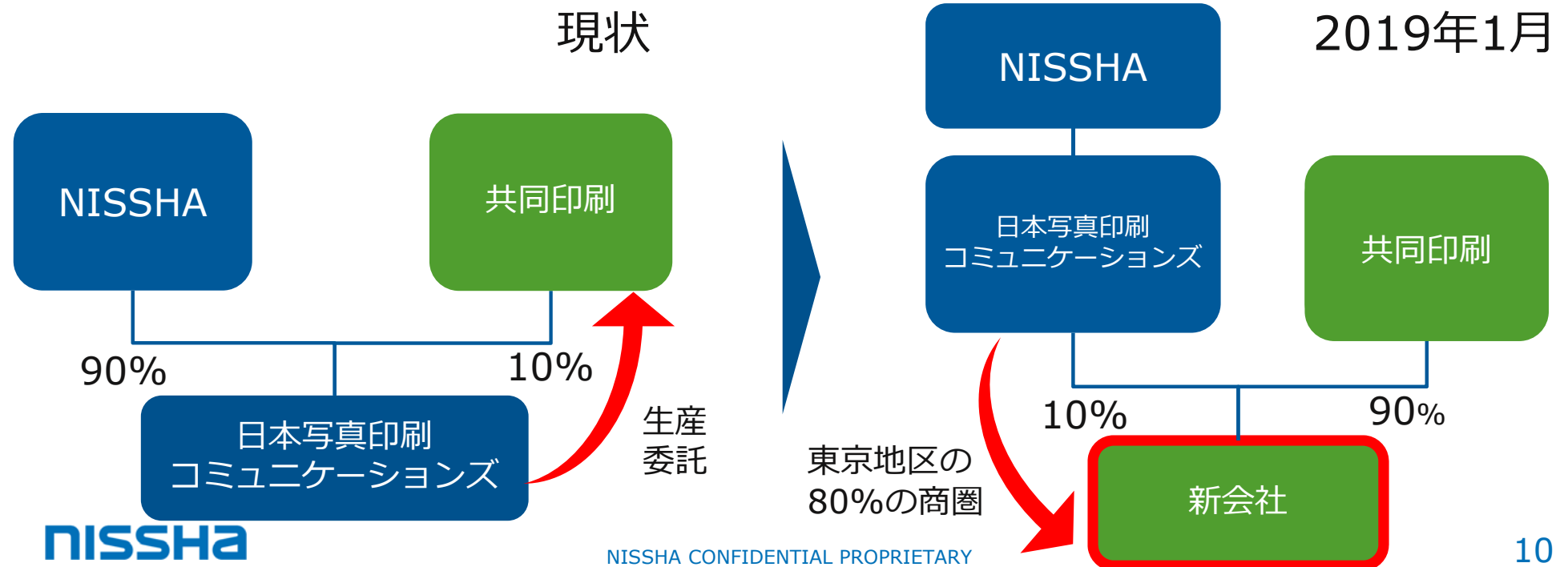
事業規模は縮小も、ROICは資本コストを上回る見通し

譲渡のスキーム

- 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社（2015年7月に分社化）が新会社を設立
- 東京地区の商圈の約80%（約70億円）を新会社に分割
- 2019年1月に株式の90%を共同印刷に譲渡

ROICを重視

- 売上高よりも収益性・効率性を追求
- 強みに集中（高精細・高品位な印刷）
- 工場の統廃合などにより投下資産を圧縮



2018/12期 通期業績計画は変更なし 事業別の内訳のみ修正

※ 修正箇所
(百万円)

	2017/12期 通期 (1-12月)	2018/12期 通期 (1月-12月) 前回計画	2018/12期 通期 (1月-12月) 今回計画	前期比 (2017/12期比)
売上高	193,481	217,000	217,000	+12.2%
産業資材	49,409	50,300	48,300	▲2.2%
デバイス	111,084	131,800	131,800	+18.6%
メディカルテクノロジー	18,195	20,000	22,000	+20.9%
情報コミュニケーション	14,445	14,500	14,500	+0.4%
その他	347	400	400	+15.3%
EBITDA	15,100	20,000	20,000	+32.4%
EBITDA率	7.8%	9.2%	9.2%	+1.4pt
産業資材	5,271	5,500	4,700	▲10.8%
デバイス	10,890	14,200	15,400	+41.4%
メディカルテクノロジー	1,183	2,300	2,000	+69.1%
情報コミュニケーション	▲ 233	200	100	黒字化
その他	▲ 2,011	▲ 2,200	▲ 2,200	-
営業利益	4,004	10,200	10,200	+154.7%
営業利益率	2.1%	4.7%	4.7%	+2.6pt
経常利益	4,936	9,000	9,000	+82.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,681	7,000	7,000	+161.1%
為替レート	¥111/\$	¥110/\$	¥110/\$	-

自己株式の取得を発表

- 今期2回目、株主還元と資本効率の向上のため

1回目		2回目	
取得日	2018年2月15日	株式の取得期間	2018年11月8日～ 2018年12月20日
株式の取得価額の 総額	715,737,600円 (実績)	株式の取得価額の 総額	1,000,000,000円 (上限)
取得した株式の 総数	294,300株 (実績)	取得し得る株式の 総数	700,000株 (上限)
	発行済株式数(自己株式 を除く)に対する割合 0.58%		発行済株式数(自己株式 を除く)に対する割合 1.39%
発行済株式数 (自己株式を除く)	50,638,059株 (2017年12月31日時点)	発行済株式数 (自己株式を除く)	50,439,546株 (2018年9月30日時点)

ご参考：設備投資・減価償却費・M&A投資・ のれん償却費・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績
設備投資	3,431	1,745	3,485
減価償却費	1,955	1,889	1,937
M&A投資	39	2,877	79
のれん償却費	388	376	460
研究開発費	933	979	878

*2018/12期より国内グループ会社の減価償却の方法を
定率法から定額法に変更しています。

This document contains confidential information and all rights regarding the document belong to Nissha Group. Therefore, any disclosure and/or leakage of the document to any third parties other than recipients of the documents, and copy, transfer and/or citation of the document without the prior authorization of Nissha Group are strictly prohibited. In addition, any use of the document for the purpose other than original purpose for the disclosure of the document is also prohibited.

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利はNISSHAグループに帰属しているため、NISSHAグループの事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複製、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。